

「いつか くるその時」 防災への取り組み～顔の見える防災そして近所の絆～

3月10日、つくし野1・2丁目自治会(17名)、2,3,4丁目自治会(9名)は、社会福祉協議会 災害ボランティアの会(長田さん、山崎さん)を講師に呼んで、「避難所運営ゲーム(HUG)講習会」を受けました。

主題1、HUGをして多くのこと知る。

主題2、避難生活で考えること、災害で気になること、その他皆で話し合う。

★避難施設運営のスムーズな運営のための心構え

- 1、まず自助～自分の命と家族の命を守る、そして共助～隣近所の助け合い、消火、救助救出、要配慮者の手助け。それには、日常の挨拶、見守り合い、回覧板手渡し声掛けが大切です。
- 2、緊張感と災害イメージを強く持つ(阪神淡路大震災を事例に)
- 3、避難の在り方～地震と洪水土砂災害では避難施設の異なる地域もある。

★★避難施設運営の事前協議が必要(三者協議とそれに伴う住民への周知徹底)

①市の指定職員と②施設管理者(つくし野小教職員)と③地域自治会と自主防災隊

・対象者は避難勧告受けた方、また火災焼失、倒壊、自宅に居ることが危険と判断した方。

・出来れば在宅避難してください、食料品、水は後で避難施設にもらいにいく。

・避難の流れ、発災～自分と家族の身を守る～火の元の確認～近所の安否確認～救出救護～いつか集合場所(かがら公園、宮前公園、つくし野駅前で避難するor自宅?)～避難施設(つくし野小)へ行く。



HUG講習会

